

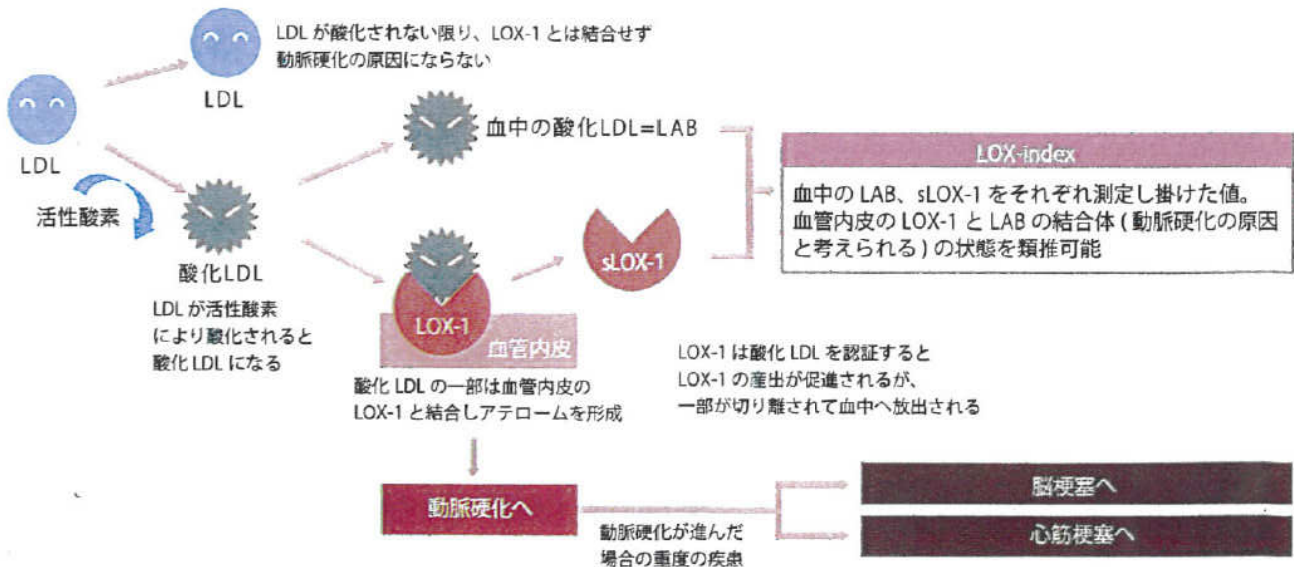
脳梗塞・心筋梗塞マーカー（LOX-index）について

テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」
放映（2012/10/26）

この度、人間ドックのオプション検査として、新たに「LOX-index」の検査を導入いたしました。この検査は、LDLコレステロール(悪玉コレステロール)の中の酸化LDLコレステロール(略称:LAB)とそのレセプター(LOX-1)から算出され、脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを把握する血液検査です。年に1度の総合的な検査をご受診のこの機会に、脳梗塞・心筋梗塞が気になる方はもちろんのこと、常々健康と思われる方々におかれましても、脳血管及び心疾患に及ぶ大切な検査をお受けいただく事をお奨めいたします。

LOX-indexの検査について

検査名	検査内容
sLOX-1	sLOX-1(soluble LOX-1)は可溶性LOX-1(タンパク質)の意味です。血管内皮に障害が起こるとLOX-1の産生が促進され、sLOX-1が血液中に放出されます。この放出されたsLOX-1を測定します。
LAB (酸化LDL)	LABは、LOX1と結合する酸化されたLDL(悪玉コレステロール)の総称です。活性酸素により酸化(変性)されたLDLを測定します。LDLは酸化されない限りLOX-1と結合せず動脈硬化の原因にはなりません。
LOX-index	sLOX-1とLABを掛けた値がLOX-indexです。動脈硬化の原因と考えられる結合体の状態を類推して、脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを把握します。



検査料金 12,960円(税込)
結果報告 別紙報告 *通常、総合検査成績表と同封
所要日数 10日~14日 *検査の状況により遅れる場合があります。